

りゅうつうか がく だいがく
流通科学大学



学園祭での試飲販売の様子



伊丹空港での試飲販売の様子



フィールドワークとシュレッターごみをすき込む様子

- 6次産業化
- 教育機関との連携
- 農村環境・景観保全



概要

- ◆ 流通科学大学西村ゼミは小野市と連携し、地域農産物(未利用のトマト)を活用した6次産業化に取り組み、トマト甘酒を開発。
- ◆ 学園祭や地域のイベントなどで試飲販売を行い、消費者ニーズの把握や認知拡大活動を行うことで食品ロス削減にも貢献。
- ◆ 大学から出るシュレッター紙ごみを活用した堆肥づくりに取り組むことで循環型農業を目指している。

成果

- ◆ 大学と自治体・企業が連携し、学生の実践的学びと地域活性化を両立させる取り組みとなった。「トマト甘酒」はイベント等でのアンケート調査や試飲販売では好評だった。
- ◆ 農家や観光農園へのフィールドワークでは、地域資源の可能性、農業や農村の景観保全の大切さを学んでいる。
- ◆ 学生たちは商品のPRや販売を通じて、実践的な地域連携とマーケティングを体験。